

目標と実績

2012 年度のレスポンスブル・ケア活動における環境保全の取り組みの目標と実績は以下のとおりです。

2012年度目標と実績の総括

★★★目標達成 ★★目標ほぼ達成 ★さらに取り組みが必要

推進項目	2012 年度目標	2012 年度実績	自己評価	2013 年度目標
環境異常の撲滅	環境異常ゼロ	環境異常 1 件	★	環境異常ゼロ
環境負荷の低減	(1)大気汚染有害物質の自主管理計画の推進			
	アクリロニトリル排出量を 2011 年度 13.0トン⇒10トンへ削減	13.6 トン排出	★	アクリロニトリル排出量を 2012 年度 13.6トン⇒10トンへ削減
	(2)産業廃棄物のゼロエミッション化計画の推進			
	2011 年度実績 4.1トン以下	最終埋立処分量 9.6トン	★★	2012 年度実績 9.6トン以下
	国内グループ会社産業廃棄物最終埋立量 25トン以下 (埋立処分率:2007 年度排出量基準) 1.0%	最終埋立処分量 27トン	★★	国内グループ会社産業廃棄物最終埋立量 7.5トン以下 (埋立処分率:2007 年度排出量基準) 0.3%
	(3)省エネルギー全社プロジェクトの強化			
	エネルギー原単位※を 1990 年度比 72.3%⇒66%へ削減	エネルギー原単位 1990 年度比 67.8%	★	エネルギー原単位を 1990 年度比 67.8%⇒66%へ削減
CO ₂ 排出原単位を 1990 年度比 75.4%⇒69%へ削減	CO ₂ 排出原単位 1990 年度比 68.7%	★★★	CO ₂ 排出原単位を 1990 年度比 68.7% 以下(2012 年度実績以下)	

※ 生産量当たり

2011 年度まで 4 年間環境異常※ゼロを継続してきましたが、2012 年度は 1 件の環境異常を起こしてしまいました。幸いにも周囲への影響はありませんでしたが、真摯に受け止め再発防止に努めています。

2012 年度から目標を設定した国内グループ会社の産業廃棄物最終埋立量は、ほぼ目標レベルに到達することができました。今後は、グループ会社の産業廃棄物最終埋立量のさらなる削減、アクリロニトリルの排出量削減、エネルギー原単位・CO₂ 排出原単位の年平均 1%削減に注力していきます。

※ 環境異常

社規に、「環境関連の法令に定められた基準はもちろん、自らが定めた基準を外れたとき、あるいは、基準は外れなかったが、標準どおりの処置では基準を外れる可能性があったとき、および、基準は定めていないが、苦情を受けたとき、あるいは放置すれば苦情を受けた可能性があったとき。」と定義されています。